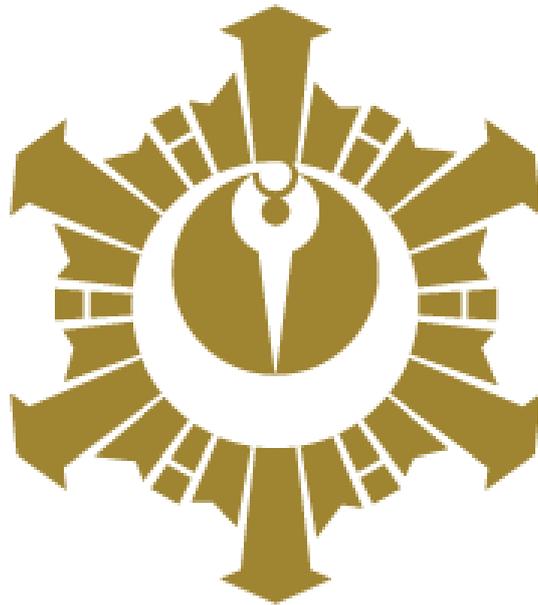


令和2年 火災・救急・救助の概要



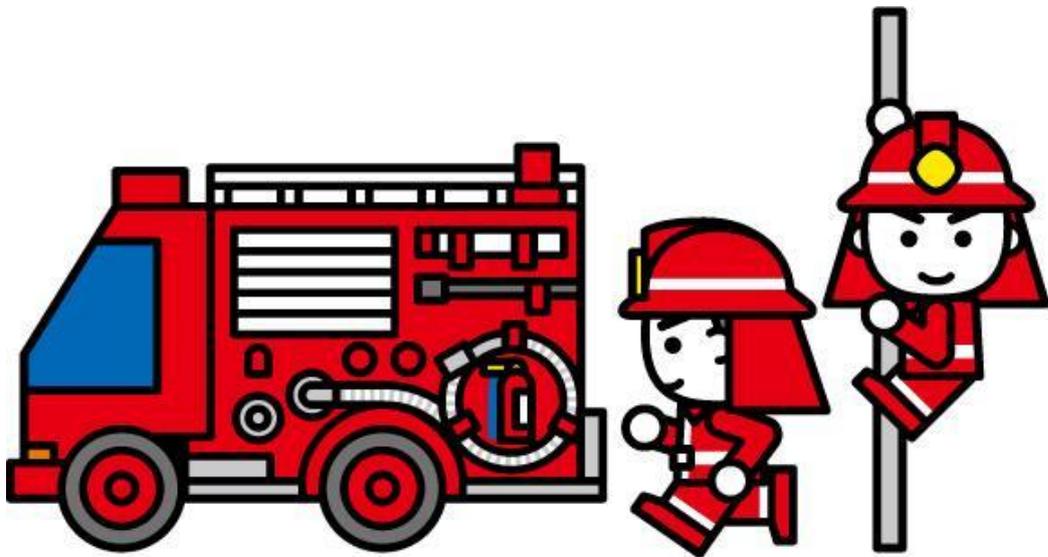
舞鶴市消防本部

消防本部ホームページ <http://www.maizuru119.com/>

Eメールアドレス syoubou@city.maizuru.lg.jp



火災



令和2年 火災概要

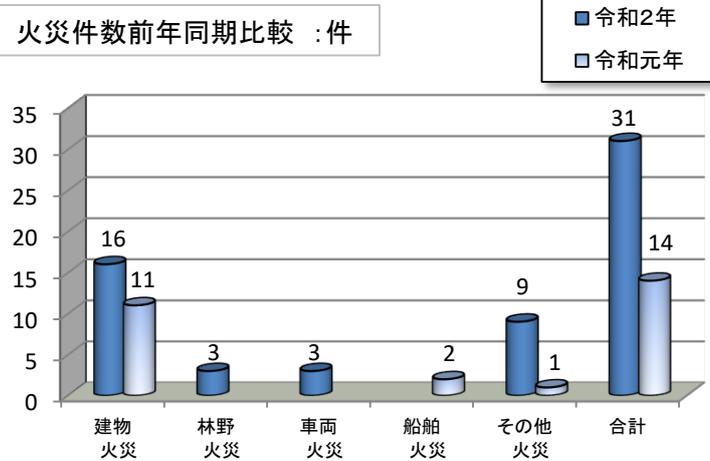
《火災の概要》

令和2年中の火災件数は31件で、前年から17件増加しました。

火災種別では、建物火災16件、林野火災3件、車両火災3件、その他火災9件となっています。

火災原因の主なものは、たき火が5件、たばこ、放火の疑いが各3件、マッチ・ライターが2件、こんろ、排気管、配線器具、灯火、火入れがそれぞれ1件となっています。

火災件数前年同期比較 : 件



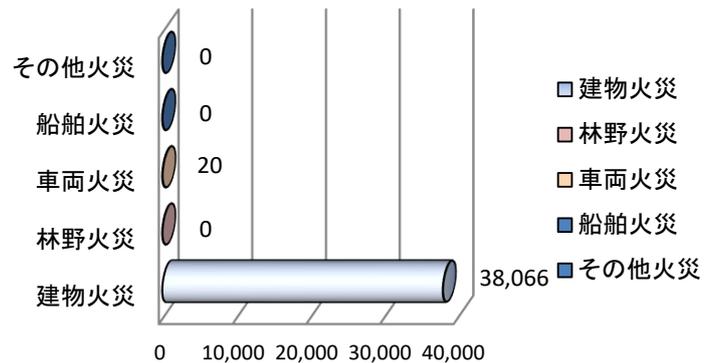
《火災損害状況》

火災損害額は、38,086千円で、前年と比較すると17,022千円増加しています。

火災1件あたりに換算すると約1,229千円/件となっています。

1日あたりに換算すると、約104千円/日となっています。

火災種別損害額状況 : 千円



《焼損面積等》

建物焼損面積については、焼損床面積が1585.23平方メートル(令和元年中302.78平方メートル)、焼損表面積が276.39平方メートル(令和元年中3.55平方メートル)となっています。

※損害額、焼損面積等については、調査中の事案があるため数値の変更があります。

《死者及び負傷者》

火災による死傷者数は、負傷者が4名(令和元年中死者1名、負傷者4名)発生しました。

住宅用火災警報器の点検をしましょう!



《地区別火災発生件数》

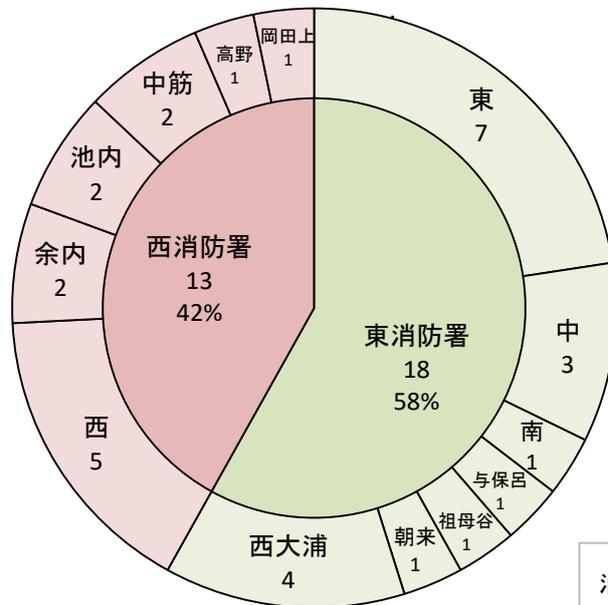
火災件数を消防署管轄別で見ると、東消防署管内が18件、西消防署管内が13件発生しています。
 また、消防団管轄区域別で見ると、東消防団管内で7件発生し、西消防団管内で5件、西大浦消防団管内で4件、中消防団管内で3件、余内消防団、池内消防団、中筋消防団管内でそれぞれ2件、南消防団、与保呂消防団、祖母谷消防団、朝来消防団、高野消防団、岡田上消防団でそれぞれ1件発生しています。

地区別火災発生状況 : 件

無火災の消防団

東消防署管内
 志楽消防団
 東大浦消防団

西消防署管内
 四所消防団
 岡田中消防団
 岡田下消防団
 八雲消防団
 神崎消防団



東消防署管内	9団
西消防署管内	11団
合計	20団

過去5年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(単位: 件)

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
平成28年	11		4		2	17
平成29年	14	1	3		1	19
平成30年	11	1			5	17
令和元年	11			2	1	14
令和2年	16	3	3		9	31

火災種別損害額の推移

(単位: 千円)

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
平成28年	158,994		342		14	159,350
平成29年	11,325		15			11,340
平成30年	1,023				17	1,040
令和元年	21,063				1	21,064
令和2年	38,066		20			38,086

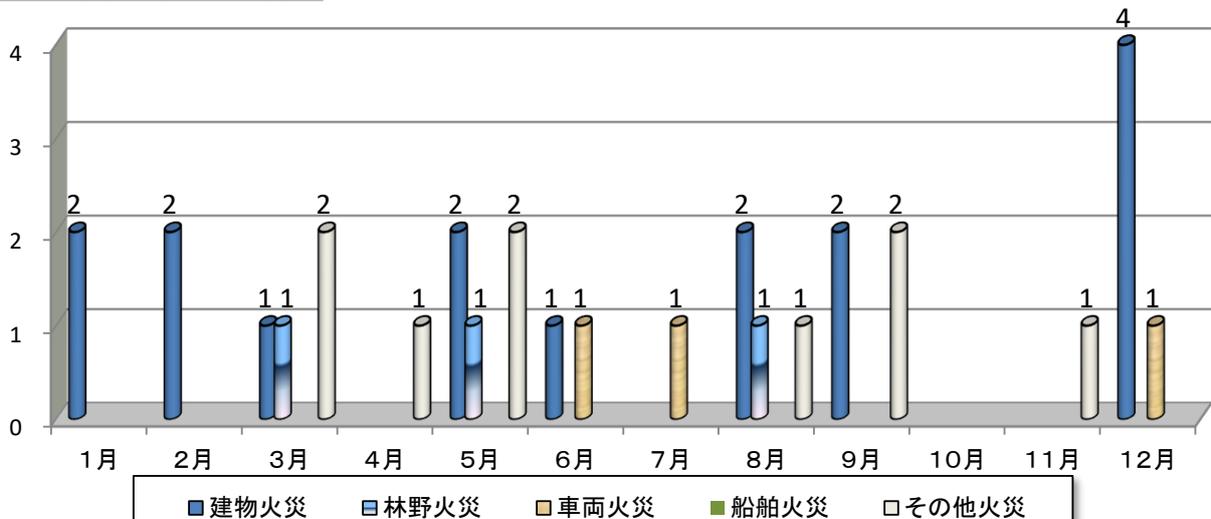
火災概況及び前年比較

種別		年別	令和2年	令和元年	比較(△減)
出火件数	計		31 件	14 件	17 件
	建物		16 件	11 件	5 件
	うち住宅火災		10 件	10 件	0 件
	林野		3 件	0 件	3 件
	車両		3 件	0 件	3 件
	船舶		0 件	2 件	△ 2 件
	その他		9 件	1 件	8 件
焼損面積等	建物床面積(m ²)		1,585 m ²	303 m ²	1,282 m ²
	建物表面積(m ²)		276 m ²	4 m ²	272 m ²
	林野(a)		45 a	0 a	45 a
	車両(台)		3 台	0 台	3 台
	船舶(艇)		0 艇	2 艇	△ 2 艇
	その他(m ²)		2,977 m ²	0 m ²	2,977 m ²
焼損棟数	全焼		6 棟	5 棟	1 棟
	半焼		1 棟	0 棟	1 棟
	部分焼		4 棟	1 棟	3 棟
	ぼや		15 棟	7 棟	8 棟
損害額	建物火災		38,066 千円	21,063 千円	17,003 千円
	建物火災以外		20 千円	1 千円	19 千円
	合計		38,086 千円	21,064 千円	17,022 千円
り災世帯	全損		3 世帯	2 世帯	1 世帯
	半損		0 世帯	0 世帯	0 世帯
	小損		7 世帯	8 世帯	△ 1 世帯
り災人員			29 人	21 人	8 人
死傷者	死者		0 人	1 人	△ 1 人
	負傷者		4 人	4 人	0 人
火災発生間隔			11.8 日	26.1 日	—————
1件平均損害額			1,229 千円	1,505 千円	△ 276 千円
1日平均損害額			104 千円	58 千円	46 千円

月別火災発生状況

種別	月別												計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
出火件数	計	2	2	4	1	5	2	1	4	4		1	5	31
	建物	2	2	1		2	1		2	2			4	16
	うち住宅火災	2	1			2	1		1	1			2	10
	林野			1		1			1					3
	車両						1	1					1	3
	船舶													
	その他			2	1	2			1	2		1		9
焼損面積	建物床面積(m ²)		2.71	0.984			12.15		68.986	1216.4			284	1585.23
	建物表面積(m ²)		4					0.39					272	276.39
	林野(a)					20			25					45
	車両(台)						1	1					1	3
	船舶(艇)													
	その他(m ²)			2,004						973				2,977
	焼損棟数	全焼		1						4			1	6
半焼								1					1	
部分焼		1				1			1			1	4	
ぼや	2	2	1		2		1	1	1			5	15	
損害額(千円)	計		39	19		2	314	2	2,509	35,183			18	38,086
	建物		39	19		2	314		2,509	35,183				38,066
	林野													
	車両							2					18	20
	船舶													
	その他													
り災世帯	全損									2			1	3
	半損													
	小損	2	1			1	1		1	1				7
り災者数	2	5			1	1		1	13			6	29	
死傷者	死者													
	負傷者	1							1				2	4

月別火災発生状況 :件



覚知時間別火災発生状況

(単位:件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
	建物	林野	車両	船舶	その他													
0時～1時																		0
1時～2時												1		1				1
2時～3時																		0
3時～4時																		0
4時～5時					1							1		1			1	2
5時～6時								2						2				2
6時～7時																		0
7時～8時					1									1				1
8時～9時																		0
9時～10時	1											1		1		1		2
10時～11時																		0
11時～12時			1	1	1		1								1	1	2	4
12時～13時			1			2								2		1		3
13時～14時																		0
14時～15時			1		1				1			1		2			2	4
15時～16時		1			1			1	1		1			1	2		2	5
16時～17時		1							1					2				2
17時～18時												1		1				1
18時～19時			1														1	1
19時～20時									1					1				1
20時～21時																		0
21時～22時	1							1						1			1	2
22時～23時																		0
23時～24時																		0
合計	2	2	4	1	5	2	1	4	4	0	1	5	16	3	3	0	9	31

曜日別火災発生状況

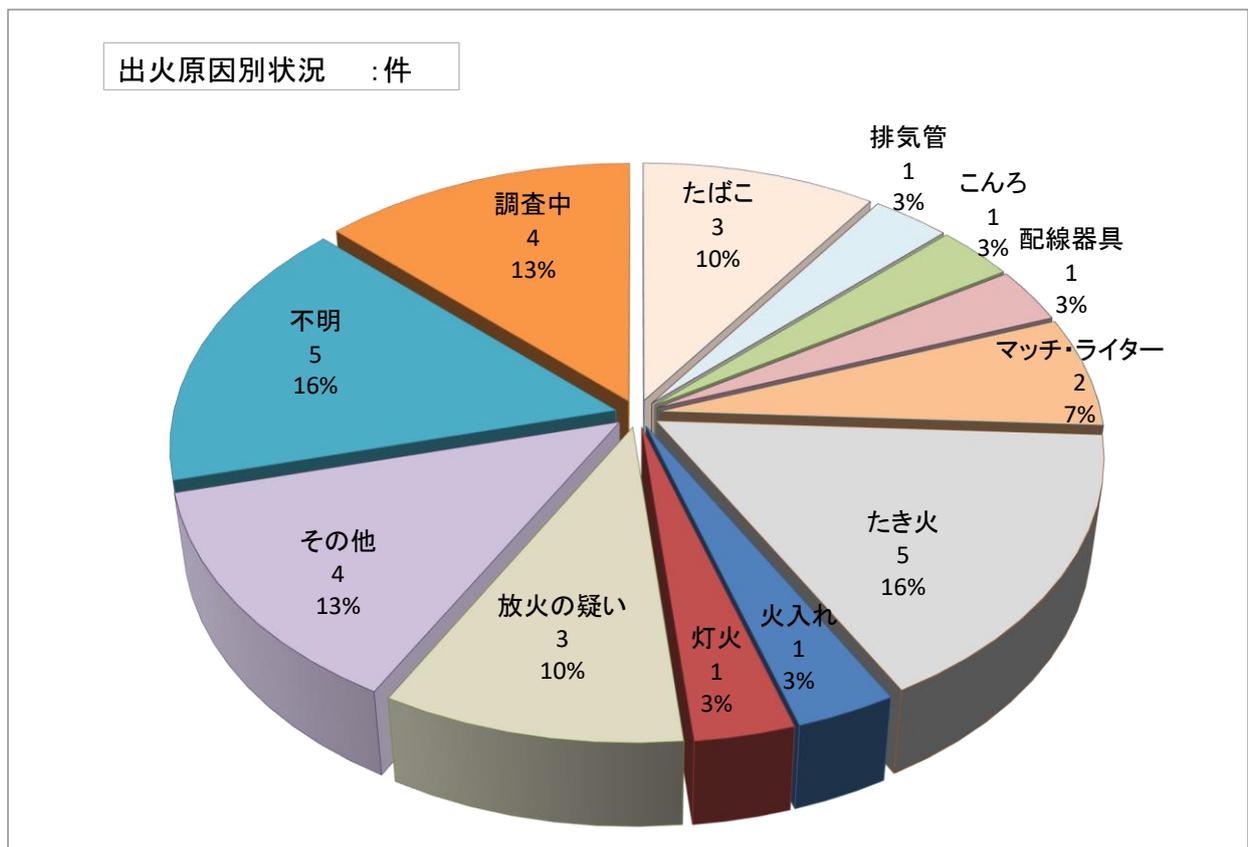
(単位:件)

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
	建物	林野	車両	船舶	その他													
日曜日			2		1	1			2			1	3	2			2	7
月曜日			1		2	1	1	3				2	4	1	3		2	10
火曜日	1	1		1					2			1	4				2	6
水曜日																		0
木曜日			1								1						2	2
金曜日	1	1			1								3					3
土曜日					1			1				1	2				1	3
合計	2	2	4	1	5	2	1	4	4	0	1	5	16	3	3	0	9	31

出火原因別状況

原因	火災件数(件)						損害額 (千円)	焼損面積等						負傷者 (人)	死者 (人)
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (艇)	その他 (㎡)		
たばこ	3	2	1				314	12.15		25					
こんろ	1	1					19	0.984							
排気管	1			1			0			1					
配線器具	1	1					0								
マッチ・ライター	2	2					2							1	
たき火	5	1	2			2	19	1.71	4	20			124		
灯火	1	1					0							1	
火入れ	1					1	0						2,000		
放火の疑い	3	1				2	0								
その他	4			1		3	18								853
不明	5	3		1		1	26,894	806.986	0.39						
調査中	4	4					10,820	763.4	272					2	
合計	31	16	3	3	0	9	38,086	1585.23	276.39	45	3	0	2977	4	0

※損害額、焼損面積等については、調査中の事実があるため数値の変更があります。



消防事故の概要

《消防事故の概要》

令和2年中の消防事故件数は、155件で昨年に比べ5件減少しました。
事故種別でみると、令和2年中は燃焼放置事故、誤報事故は増加しましたが、漏洩・流出事故、電気事故、その他事故が減少しました。

消防事故発生状況

種 別	年 別		令和2年	令和元年	前年との比較
消 防 事 故 種 別	焼 損 事 故		1	1	0
	爆 発 事 故				0
	漏 洩 ・ 流 出 事 故		12	22	△ 10
	電 気 事 故		2	3	△ 1
	燃 焼 放 置 事 故		3	1	2
	誤 報 事 故		46	22	24
	そ の 他 の 事 故		91	111	△ 20
合 計			155	160	△ 5

救 急



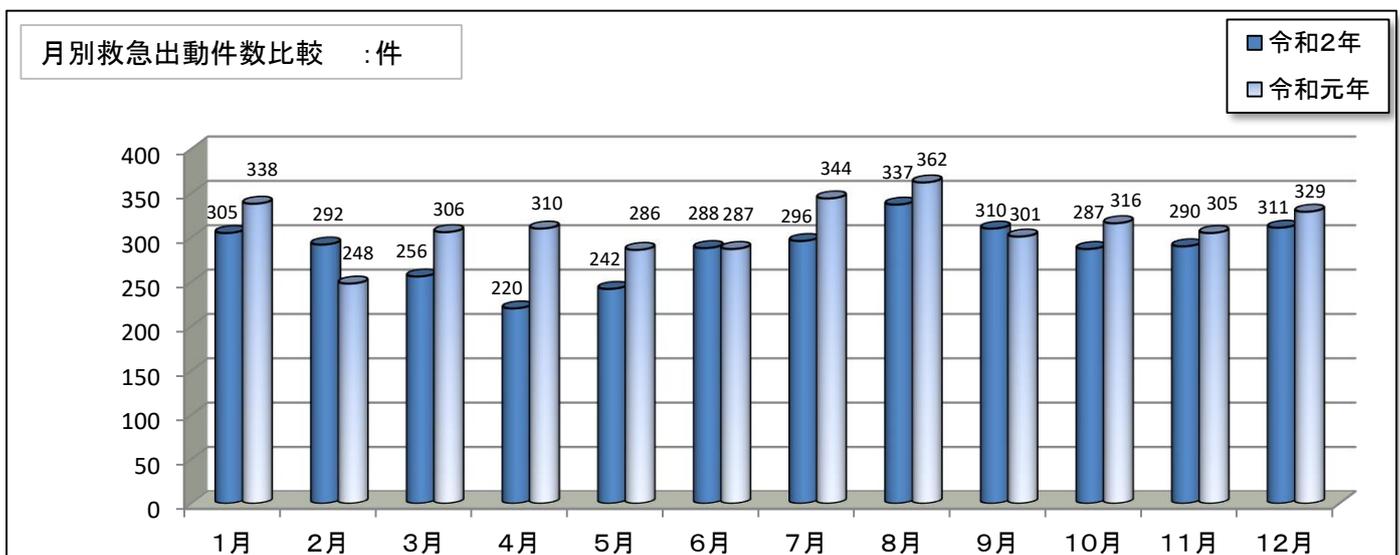
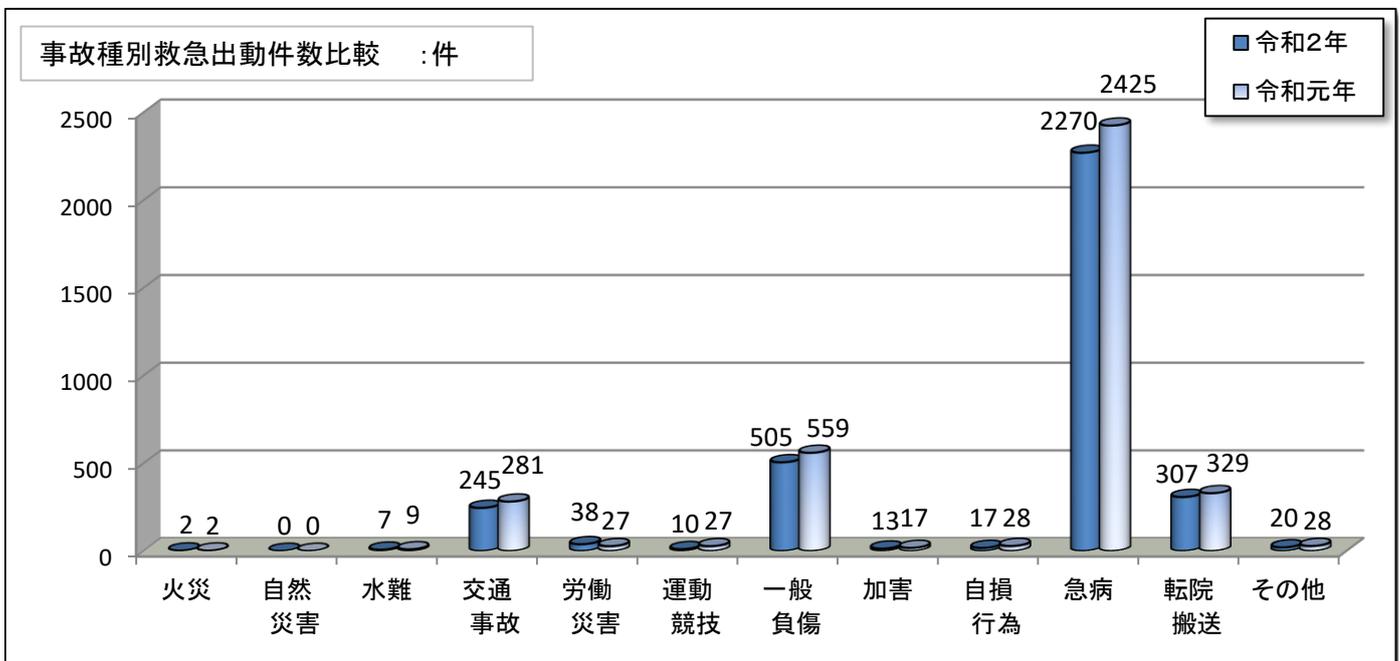
令和2年 救急概要

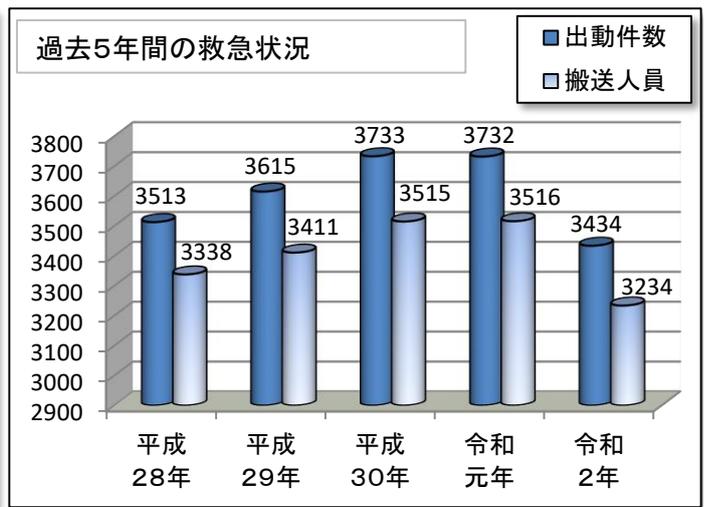
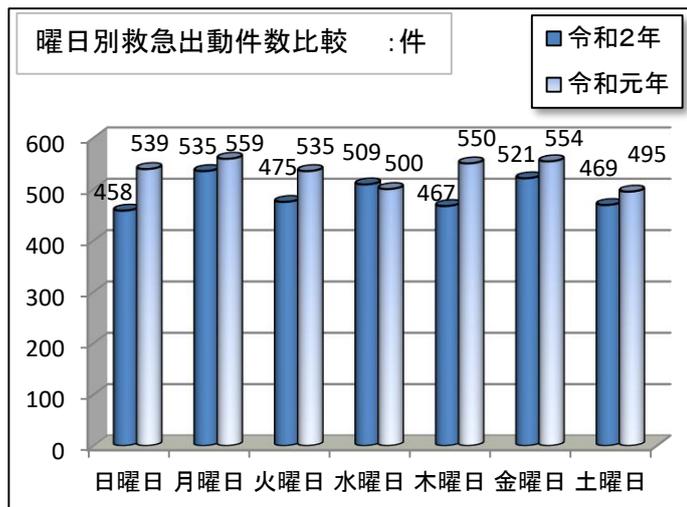
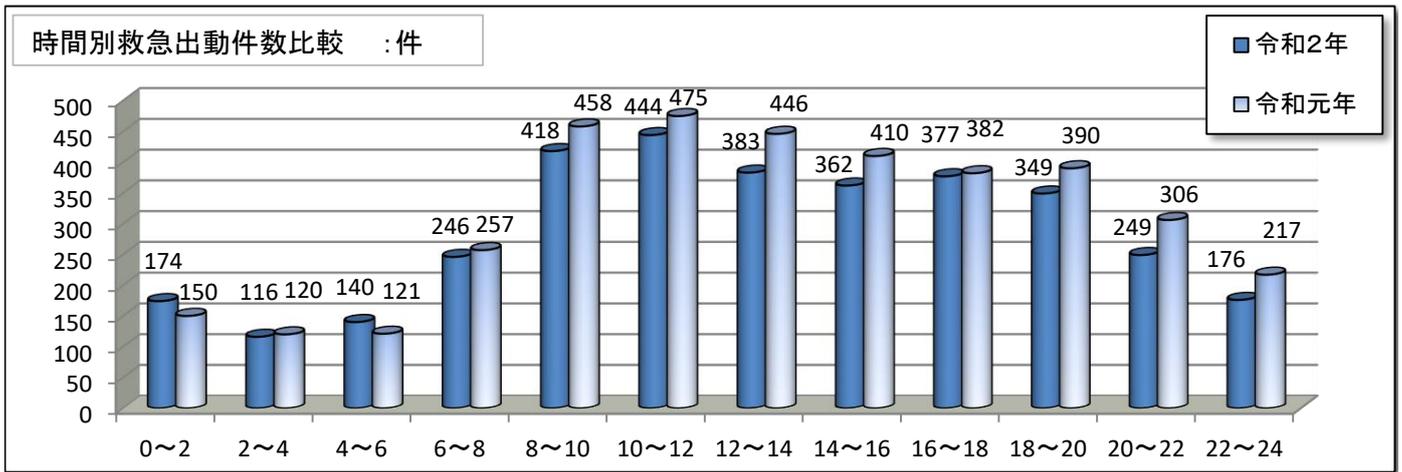
《救急の概要》

令和2年の救急出動件数は3,434件で、前年(3,732件)と比較すると298件の減少、救急搬送人員については3,234人で、前年(3,516人)と比較すると282人の減少となっております。

《救急出動件数》

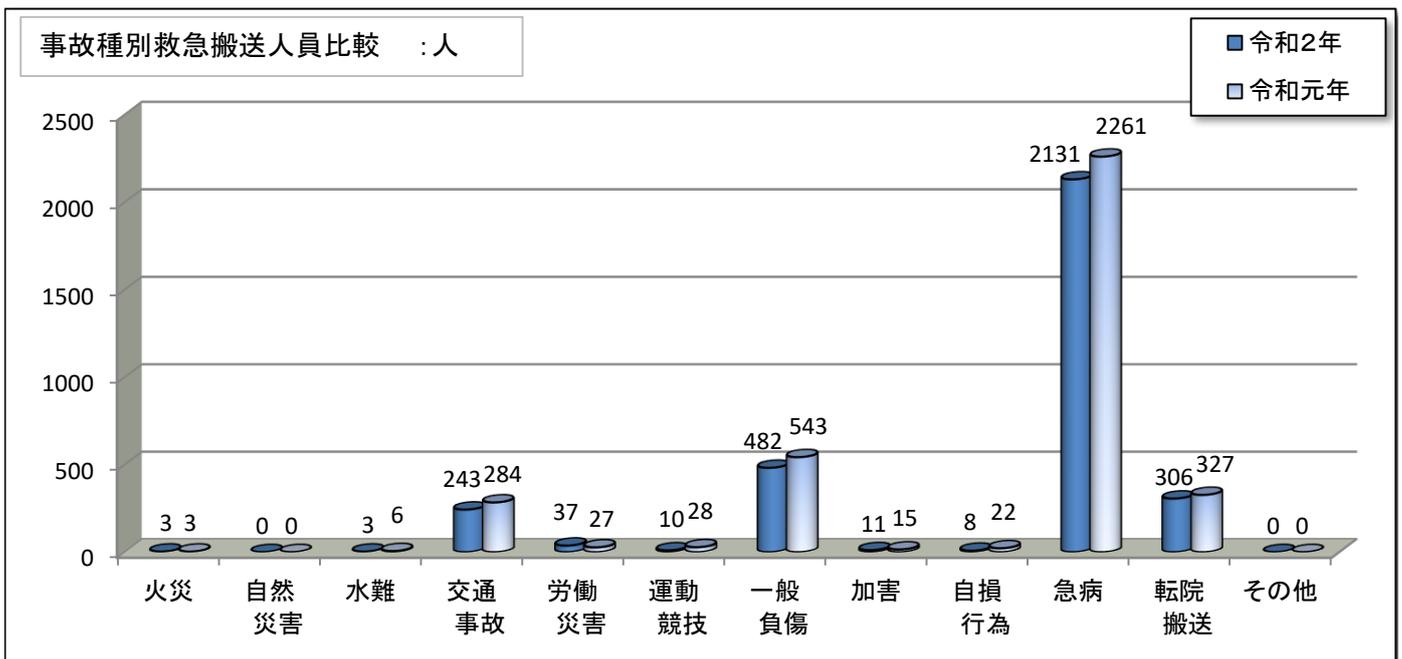
事故種別救急出動件数をみると、急病は2,270件、一般負傷505件、転院搬送307件、交通事故245件の順となり、前年と比較すると、急病は155件減少、一般負傷は54件減少、交通事故は36件減少、転院搬送は22件減少、運動競技は17件減少しています。





《搬送人員状況》

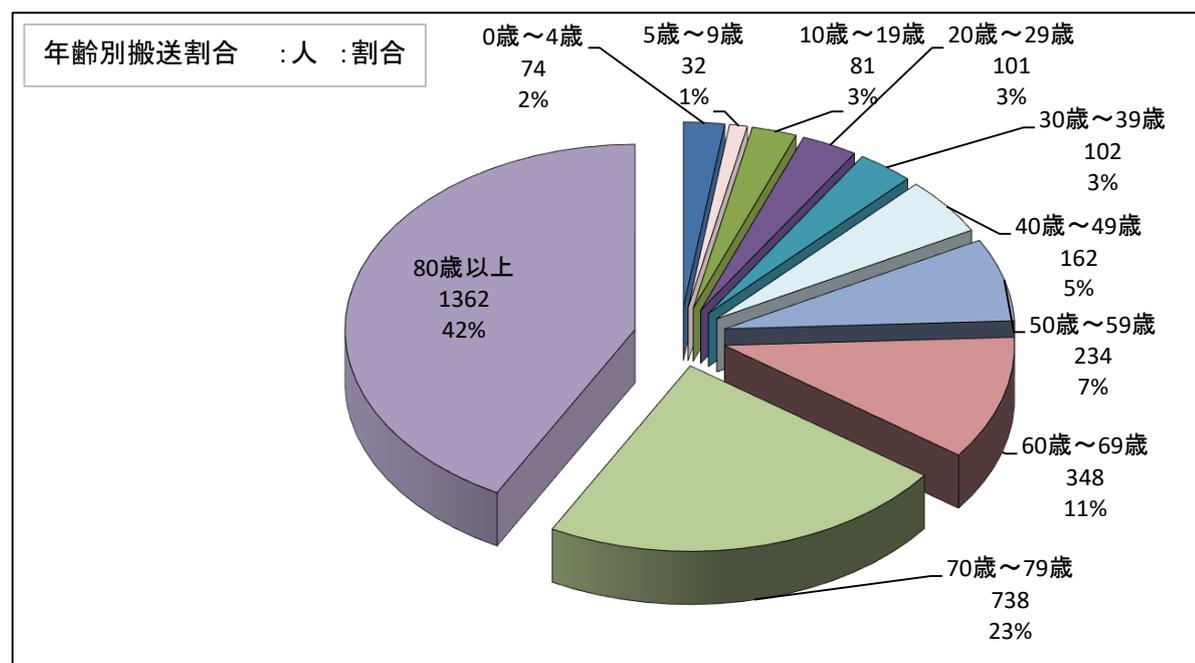
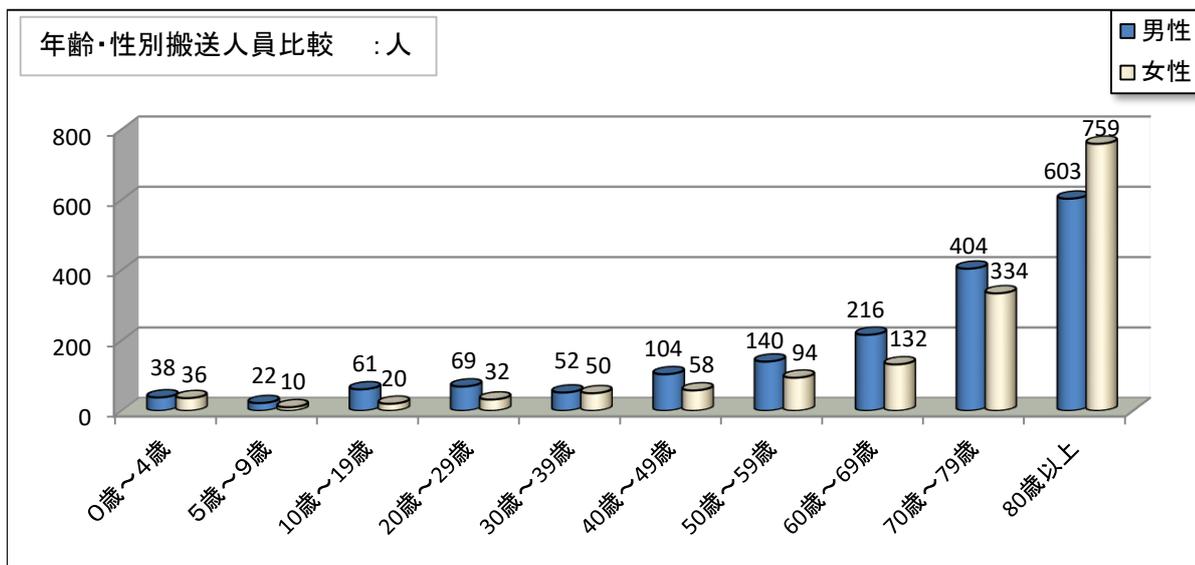
救急搬送人員は3,234人で、性別では男性が1,709人、女性が1,525人となっています。
年齢区別の搬送人員は、70歳以上が2,100人と全体の約65%を占めています。



《年齢・性別搬送人員比較》

(単位:人)

年齢	性別		令和2年			令和元年			比較(△減)		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計		
0歳～4歳	38	36	74	70	54	124	△ 32	△ 18	△ 50		
5歳～9歳	22	10	32	29	10	39	△ 7	0	△ 7		
10歳～19歳	61	20	81	66	53	119	△ 5	△ 33	△ 38		
20歳～29歳	69	32	101	63	54	117	6	△ 22	△ 16		
30歳～39歳	52	50	102	54	63	117	△ 2	△ 13	△ 15		
40歳～49歳	104	58	162	119	92	211	△ 15	△ 34	△ 49		
50歳～59歳	140	94	234	166	90	256	△ 26	4	△ 22		
60歳～69歳	216	132	348	217	131	348	△ 1	1	0		
70歳～79歳	404	334	738	409	358	767	△ 5	△ 24	△ 29		
80歳以上	603	759	1,362	577	841	1,418	26	△ 82	△ 56		
合計	1,709	1,525	3,234	1,770	1,746	3,516	△ 61	△ 221	△ 282		



《傷病程度別搬送状況》

傷病程度別搬送状況は軽傷が1,464人で全搬送人員の約45%を占め、次いで中等症1,167人(約36%)、重症528人(約16%)の順となっています。

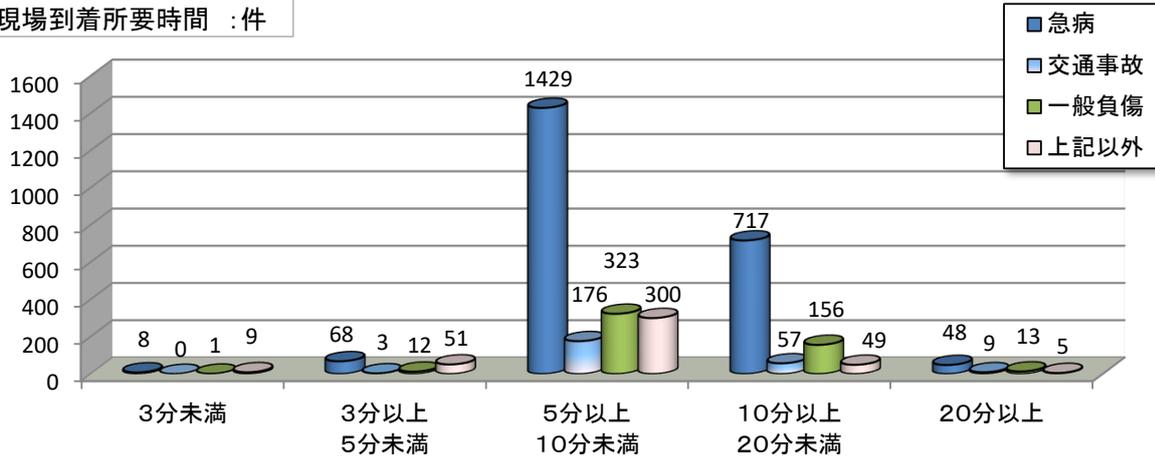
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計(人)
急病	64	270	841	956	0	2,131
一般負傷	3	113	126	240	0	482
交通事故	4	17	27	195	0	243
上記以外	4	128	173	73	0	378
合計	75	528	1,167	1,464	0	3,234

- ※ 死亡: 初診時において、死亡が確認されたもの
- 重症: 21日以上入院加療を必要とするもの
- 中等症: 入院を要するもの(21日未満の入院)
- 軽症: 入院を必要としないもの
- その他: 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

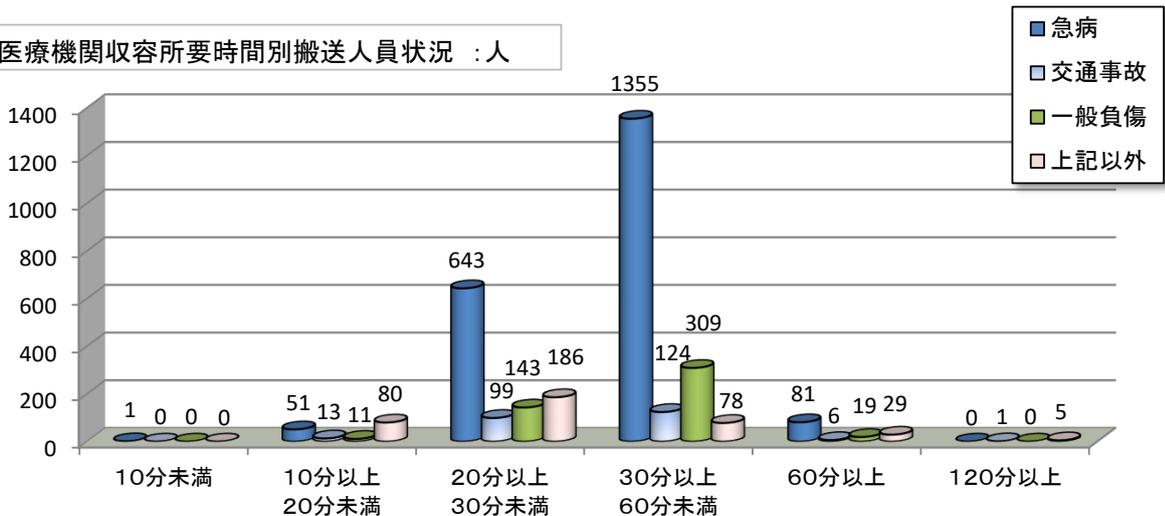
《救急所要時間状況》

救急隊が119番を受信してから現場到着するまでの所要時間は、平均8.8分となり、医療機関収容所要時間の平均は35分となっています。
医療機関への収容所要時間で60分以上要している中には、市外への搬送も含まれています。

現場到着所要時間 : 件



医療機関収容所要時間別搬送人員状況 : 人



《事故種別でみる搬送先別搬送者数》

(単位:人)

事故種別 搬送医療機関	救急事故種別												合計	
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
											転院搬送	その他		
舞鶴市内	1	0	3	240	36	10	479	11	7	2,122	275	0	3,184	
管外	中丹	2	0	0	0	1	0	1	0	0	9	14	0	27
	府下 (中丹以外)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	15	0	16
	府外	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	2	0	7
その他の場所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	3	0	3	243	37	10	482	11	8	2,131	306	0	3,234	

※ドクターヘリ搬送は、府外へ計上。その他の場所は、搬送先が医療機関以外のものを計上(例:防災ヘリ、老人ホーム、歯科など)

《急病比較(年間)》

区分	年別				
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全搬送人員	3,338	3,411	3,515	3,516	3,234
急病搬送人員	2,166	2,149	2,263	2,261	2,131
急病による搬送人員の全搬送人員に対する割合	65%	63%	64%	64%	66%

《急病にかかる疾病分類別傷病程度》

(単位:人)

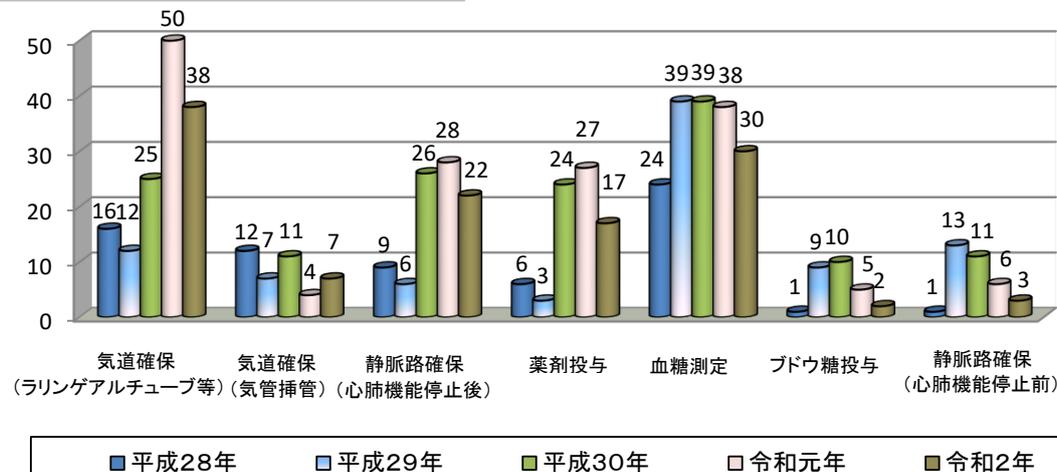
疾病分類	傷病程度	傷病程度					合計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
循環系	脳疾患	0	68	71	26	0	165
	心疾患等	58	58	85	67	0	268
消化系		0	19	108	53	0	180
呼吸系		0	38	131	68	0	237
精神系		0	3	9	93	0	105
感覚系		1	4	72	81	0	158
泌尿系		0	13	55	59	0	127
新生物系		1	17	60	6	0	84
その他		1	37	174	206	0	418
症状・徴候 診断名不明確		3	13	76	297	0	389
合計		64	270	841	956	0	2,131

《応急処置・救命処置実施状況》

搬送人員3,234人のうち、救急隊員が何らかの応急処置を実施した対象人員は3,218人で全搬送人員の約99%にあたり、応急処置総合計は12,460件で搬送人員1人あたり約4件の応急処置をしたこととなります。また、救急救命士による救命処置をみると器具による気道確保45件(ラリゲアルチューブ等38件、気管挿管7件)、静脈路確保25件(心肺停止前3件、心肺停止後22件)、薬剤投与17件、血糖測定30件、ブドウ糖投与2件を実施しました。

処置別	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	止血	10	7	35	2	54
	固定	2	68	34	14	118
	人工呼吸	6	0	1	0	7
	胸骨圧迫	0	0	0	0	0
	心肺蘇生	76	3	5	3	87
	うち自動	15	1	1	0	17
	酸素吸入	531	13	35	91	670
	気道確保(特定行為除く)	74	4	6	7	91
	保温	776	36	134	111	1,057
	被覆	16	31	77	10	134
	在宅療法継続	180	0	21	12	213
	ショックパンツ	0	0	0	0	0
	血圧測定	2,013	237	453	344	3,047
	聴診器による心・呼吸音聴取	1,279	148	243	122	1,792
	血中酸素飽和度測定	2,043	238	468	366	3,115
	心電図	1,530	50	155	173	1,908
	うち伝送	37	0	0	0	37
	除細動	10	0	0	0	10
	その他	29	0	1	8	38
応急処置合計		8,575	835	1,668	1,263	12,341
救命処置	気道確保(ラリゲアルチューブ等)	34	2	2	0	38
	気道確保(気管挿管)	5	0	2	0	7
	静脈路確保(心肺停止後)	21	0	1	0	22
	薬剤投与	15	0	2	0	17
	血糖測定	29	0	1	0	30
	ブドウ糖投与	2	0	0	0	2
	静脈路確保(心肺停止前)	2	1	0	0	3
救命処置合計		108	3	8	0	119
応急処置総合計		8,683	838	1,676	1,263	12,460
応急処置対象人員		2,126	242	478	372	3,218

過去5年間の救命処置別推移 : 件



※舞鶴市消防本部は、「心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液」並びに「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」について、平成26年10月1日に運用開始しております。

救 助



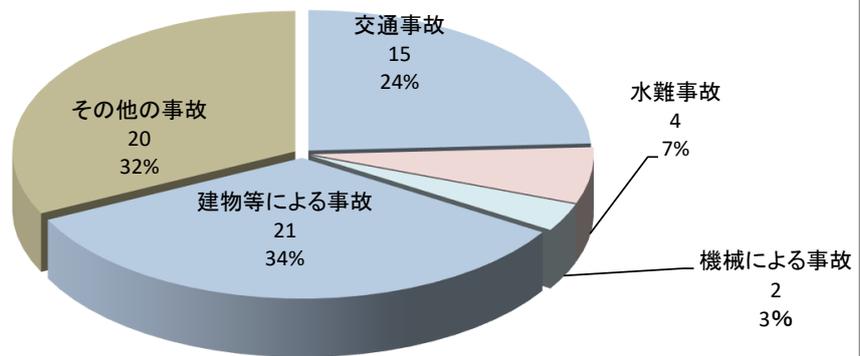
令和2年 救助概要

《救助の概要》

令和2年の救助出動件数は62件、救助人員は46人で、それぞれ前年と比較すると15件、15人増加となりました。事故種別救助人員でみると、建物等による事故が18人と最も多く、次いで交通事故が15人、その他の事故が9人でした。

区分 事故種別	令和2年			令和元年			前年比較		
	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員
火災(建物)				1	1	1	△ 1	△ 1	△ 1
火災(建物以外)									
交通事故	15	8	15	13	9	8	2	△ 1	7
水難事故	4	3	3	6	4	4	△ 2	△ 1	△ 1
風水害等自然災害									
機械による事故	2	1	1				2	1	1
建物等による事故	21	19	18	14	12	11	7	7	7
ガス及び酸欠事故				1			△ 1		
破裂事故									
その他の事故	20	9	9	12	7	7	8	2	2
合計	62	40	46	47	33	31	15	7	15

事故種別救助出動件数 : 件 : 割合



救助出動件数比較 : 件

